

感染症に関するお知らせ

前回もお伝えしていますが、昨年末から数名の職員とご入居者がインフルエンザを発症し、現在はさらに感染が拡大しないように、対策を強化しているところです。2月に入り、入居者様の感染はありませんが、職員が感染する事例がありました。引き続き、施設受付前と各ユニット入口付近にマスクと消毒を設置していますので、面会時にはうがい・手洗いのほか、必ずマスク着用や手のアルコール消毒をしていただけますようお願いいたします。皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。



各ユニットの入り口にこのようにマスクと消毒を用意しました。

ユニットへ入る際には、職員も必ずマスクの着用と手の消毒をしています。

施設正面玄関のうがい・手洗いコーナーです。

年間を通して、常設していますが、この時期は特に皆様のご協力をお願いいたします。

留寿都小学校4年生が来所されました！！

2月17日（火）総合学習の一環で、留寿都小学校の4年生17名、先生1名が、るすつ銀河の杜に来所してくれました。入居されている方との交流や、きもべつ喜らめきの郷と繋いでいるライブカメラでのやり取りも体験しました。



施設での看取り介護について

次年度に改正される介護保険法や介護報酬改訂で、特別養護老人ホームにおける「看取り介護」に対する報酬が見直される予定です。

国の考え方は、「地域包括ケアシステムの構築に向けて、看取り期の対応を充実・強化するためには、本人・家族とサービス提供者との十分な意思疎通を促進することにより、本人・家族の意向に基づくその人らしさを尊重したケアの実現を推進することが重要であることから、施設等におけるこのような取り組みを重点的に評価する。」としています。

きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜においては、各施設が開設時より、看取りに関する研修を重ね、準備を進めてきました。

これまで、施設での看取りも経験させていただき、その度に行われる振り返りのカンファレンスでは、「もっとこんなことが出来たのでは?」、「人の死や看取りに対して、不安や恐怖心を持っていたが、実際にご入居者看取りに関わることで、人の死が特別なことではなく、自然なことなのだと感じた。」など関わった職員から率直な意見が交わされます。

今から60年ほど前の日本では、自宅で亡くなる方が死亡者数の約8割、病院で亡くなる方は1割にも満たない状況でしたが、現在はその割合が逆転しています。

今後、在宅医療の整備や施設での看取りに対する理解が進めば、病院で亡くなる率は下がると予測されているようですが、みなさんはどのように考えますか?

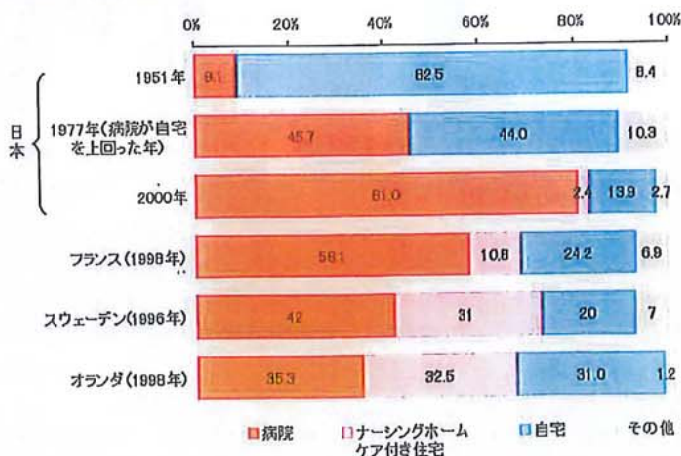
喜らめき銀河タイムス

社会福祉法人溪仁会 経営理念

- 一. 安心・安全
- 二. 信頼・満足
- 三. 地域に貢献



死亡場所の推移と各国比較



(注) 海外及び日本(2000年)は医療経済研究機構「要介護高齢者の終末期における医療に関する研究報告書」による。それ以外は人口動態統計による。

(資料) 東京新聞「生活図鑑」2012.7.1

福祉先進国といわれるスウェーデンでは、自宅とナースিংホームと呼ばれる施設で亡くなる方が50%を超えています。

日本でもサービス付き高齢者住宅が次々と建設されています。今後ナースিংホームのような機能を持った住宅になれるのでしょうか。